

Howard Rheingold 著

会津 泉 訳

三田出版会発行

580頁 3500円

ISBN:4-89583-142-6



ネット
ワーク社
会 研究所、
国際大学グローバルコミュニ
ケーションセンターの話に終始
している。JUNETやWIDEに
ついて一言もふれていないのが
残念だ。

昨今のインターネット化が
進むパソコン通信利用者の実
状を理解するにはよってつた
らう。(菊地)

BBSが作る 新しい市民社会

『バーチャルコミュニティ』

米『ビジネスウィーク』誌
絶賛!と帯に書かれていても、
93年のことである。先の東京
都知事選で大前氏がパソコン
通信を議論の場にしように、
この本が出版されてから2年の
間に現実のほうの本の内容を
先行してしまっただけもあるが、
インターネットを巻き込んだそ
の頃のムーブメントを記したノ
ンフィクションとして読むこと
ができる。

本書で登場するキーワード
「ザ・ネット」は、草の根BBS
の相互接続をも含めたネット
ワーク全体を示している。

ザ・ネットではインターネット
は社会基盤として経路に使わ
れるにすぎず、別の伝達経路
を持つこともできるBBSの集
まりである。FidoNetのような
相互接続できる複数のBBSシ
ステムで構築されている。表
題となるバーチャル・コミュニ
ティとは、ザ・ネットから生
成される社会的な総和のこと
だ。主眼を、そこに関わって
きた人々とそこで生まれたサブ
カルチャーにおき、米国のBBS
での風景やインターネットの発
展の歴史が描かれている。

第7章「日本とザ・ネット」
では、訳者自身が取材を手伝
い、TWICSやコアラ、ハイパー



つながってるだけじゃ退屈だ

鷲谷好輝 Yoshiteru Sagiya 菊地宏明 Hiroaki Kikuchi

手紙を越える メールの使い方

『電子メールの王様』

ダイヤルアップIP接続をし
ても、しばらくすると、電子
メールしか使わなくなる人は多
い。本書は、インターネット
での電子メールのさまざま
な使い方を

ル・ゲイツやサンタクロースの
アドレス、ウェブスターの辞書
を引いてくれるアドレス、官
能小説を送ってくれるアドレ
スまで30ほどある。後半は、
電子メールを使ったFingerサ
ービスとそのアドレス、電子
メールでショッピングできるお
店の紹介、電子メールで使う
テキストベースのGopher、
WAIS、WWWの情報検索、
Archie、FTPメールでのフ
ァイル転送、メーリングリ
ストへの参加、電子雑誌、
ニュースグループの購読と、
たたみかけるように電子メー
ルのさまざまな利用方法を説明
している。電子メールだけを
とって、これだけの奥深さが
あるということを知ることが
でき、それを支える欧米の情
報基盤の充実を感じることが
できるだろう。

IP接続されていないパソ
コン通信利用者もインターネッ
トを楽しめる一冊。(菊地)

紹介し、
電子メールのおも
しろさを再認識させてくれる。
まず、パソコン通信からイ
ンターネットにメールを送信す
る方法から始まり、有益な情
報を返信してくれるアドレスが
紹介されている。有名なビ



牧野武文著
ソフトバンク発行
187頁 1300円
ISBN:4-89052-663-3

初心者にはやさしい HTMLの入門書

『インターネット ホームページデザイン』

WWWでおなじみのHTML
を解説した入門書である。本
書の半分を占めるHTMLのリ
ファレンスは、コマンドごと
に書式、説明、サンプル、サ
ンプル実行例という形式で解説
されており、コマンドもペー
ジ、リンク、フォーム、テー
ブルと分けられ引きやすい。
HTMLでもブラウザごとに使
えるコマンドの違いがあるが、
「Mosaic&Web」「Netscape」
「Arena」と対応3種類のマ
ークを解説

ページに添え、わかりやすく説
明している。

後半は、本書のタイトルに
「ホームページデザイン」とあ
るとおり、さらに一歩踏み込
んで、透過GIF、インター
レスGIF、QuickTime/MPEG1
ムービーの作り方、サウンド
データの作り方まで説明され
ている。紹介されているユー
ティリティソフトはMacが
UNIXで動作するものばかりだ
が、これらのソフトはArchie
で検索できるように、ファ
イル名を掲載している。

AMIGA、Mac、Windows、
UNIXユーザーと幅広く対応で
き、肩が凝らない程度に書か
れている。初めてHTMLを書
いてみようとするなら十分な
内容である。(菊地)



吉村信、家永百合子、
鑑聡著
翔泳社発行
316頁 2400円
ISBN:4-88135-242-3

新聞記事検索も インターネットで

『誰でもつなげる インターネット』

情報検索とEメール編 Windows版

NTT出版が発行する誰でもつなげるインターネットシリーズの第3弾が、本書『情報検索とEメール編』だ。お得意のゲストID (InfoSphere用)の申し込み書が付属しているのは変わらないが、前2作と違って今回はCD-ROMが付属している(これまでではフロッピーディスクだった)。このCD-ROMにはInternet OFFICE 3.0Jの評価版と暗号化された製品版が入っていて、評価版はインストールしてから1か月間だけ利用できる。

暗号化されたほうは、NTTとマイクロソフト社が新しく始めた「miTa Katta」サービスから暗号解読キーを購入することで、即座に製品版として利用

できるようになっている点が目新しい。また、G-Searchが

提供するデータベースの中から「帝国データバンク企業情報」と「朝日新聞記事データベース」にアクセスできる無料体験IDも葉書で申し込めるようになっているので、こういったサービスに興味を持つ人なら買う価値はあるだろう。

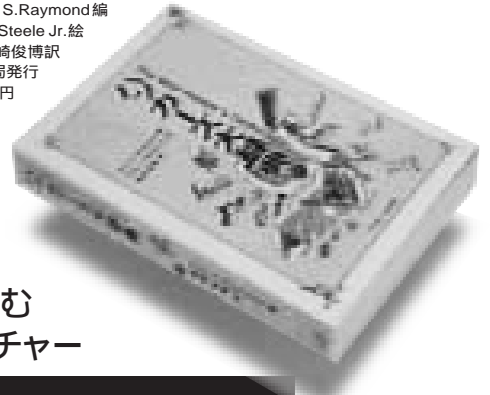
ただし、この本の定価、はっきり言って高いと思う。Internet OFFICEの評価版だけなら、1000円前後のいろいろな雑誌に収録されている。G-Searchの無料体験ID料が高いのだろうか、それとも「miTa Katta」にアクセスするためのツールを別途手に入れるとなると高いのだろうか？

(鷲谷)

赤木順彦著
NTT出版発行
135頁 3500円
ISBN : 4-87188-397-3



Eric S. Raymond 編
Guy L. Steele Jr. 絵
福崎俊博訳
アスキー出版局発行
566頁 3200円
ISBN : 4-7561-0374-X



ハッカー用語で読む コンピュータカルチャー

『ハッカーズ大辞典』

The MIT Pressから『The New Hacker's Dictionary』が出版されていたのはずいぶん前から知っていた。読んだこともあるし、翻訳の真つ最中だということも聞いていた。記憶の彼方に消え去った頃に、ようやく出版されたというのが、本書を手にした最初の感想だった。本書は原書第2版の翻訳本になっている。

辞典というよりは読み物に近い内容で、AからZまでアルファベット順に、題名の通り、ハッカー用語が網羅されている。一般のコンピュータ用語を解説した下手な国産のコンピュータ辞典よりも詳しいの

で、けっこう重宝しそうだ。もちろん、単語のオリジナルの意味がわかっていなければ、まっとうな(?)使い方ができないのは当然だろう。端から端まで順番に読むのもいいし、ところどころ拾い読みしても十分楽しめる。知り合いのある編集者に聞いたら「私は順番に読んで目が真っ赤になった」と言っていた。

なお、インターネット関連のジャーゴン(ハッカースラング)も少し掲載されているが、それほど多くはない。インターネットの「本当」のジャーゴンなんて、口の端に上るようになってから、ほんの1年くらいでしかないからだ。(鷲谷)

広いアメリカだから 地域別アクセスガイド

『Internet NYC』 『Internet Chicago』

サンフランシスコに行く用事ができたので、近くのComputer Literacyという本屋で見つけたのがこの2つ。1994年の発行なのでちょっと古いですが、それぞれの地域、つまり、ニューヨークとシカゴで有名なインターネットサイトがたくさん紹介されている便利なアクセスガイドだ。NetNEWS、FTP、Gopher、WWWの各種ツールでアクセスできる、ス

ポーツ、娯楽、教育、ビジネスなどさまざまな分野のサービスが掲載されている。

個人的にはサンフランシスコの情報がほしかったのだが、棚には並んでいなかった。シリコンバレーでコンピュータネットワークのメッカだから当然あるだろうと思っていたのに、聞いたらまだ出版されていないようだった。

巻末には、おまけ程度にインターネット全般についての解説が書かれているが、それよりも、地域プロバイダーの一



Hayden Books発行
116頁 (Internet NYC)
110頁 (Internet Chicago)
U.S.\$12.00
ISBN :
1-56830-039-5 (Internet NYC)
1-56830-038-7 (Internet Chicago)

覧のほうが便利だろう。とくに、海外に長期出張するような場合に、近場のプロバイダーを探すにはちょっと役立つと思う。分量も薄く、ペラペラと引ける本なので、インターネット関係の雑誌と一緒に買っておいても損はないだろう。

(鷲谷)



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp